

水族トピック展示

「滋賀県の地名にちなんだ名をもつ魚・ゼゼラ」を開催します

琵琶湖博物館の水族トピック展示として「滋賀県の地名にちなんだ名をもつ魚・ゼゼラ」を7月17日(水)から開催します。

概要

- ・滋賀県の地名「膳所(ぜぜ)」にちなんだ名前を持つゼゼラの生体(成魚・稚魚)を展示する。
- ・県内のゼゼラは入手や飼育が難しく、当館でも過去の展示はほとんどされていない(2018年の水族企画展示が最後)。また、稚魚の展示は初めての試み。
- ・琵琶湖博物館での水族資料の収集や飼育・繁殖研究について、あわせてパネルを使って紹介する。



ゼゼラ

詳細について

「ゼゼラ」は、滋賀県の地名「膳所(ぜぜ)」にちなんだ名前をもつ日本固有の魚です。名前に滋賀県の地名が付きますが、日本の他の地域にも生息しているため、琵琶湖の固有種ではありません。ゼゼラ近縁種には、淀川を主な生息地とする琵琶湖淀川水系固有種の「ヨドゼゼラ」があり、琵琶湖博物館・保護増殖センターで飼育、系統保存をしています。ゼゼラは他地域では比較的容易に採集できますが、県内では繁殖期以外は琵琶湖内にいるため採集が難しい魚です。また、1年で寿命を迎え、すり傷等にも弱いため、漁業者を通じて、若魚や繁殖に適した個体の入手が難しい魚です。そのため、当館では安定した確保や長期飼育、繁殖ができておらず、展示する機会がほとんど得られませんでした。

今年は活きのよい、繁殖に適した個体を10個体以上入手することができ、バックヤードで飼育・繁殖に挑戦してきました。今回、その繁殖に成功し、この機会に稚魚と成魚の両方を展示します。あわせて、当館水族での資料収集・飼育管理・繁殖研究についても紹介します。この夏休みには、ぜひ常設展示では見ることのできないゼゼラの生体(成魚・稚魚)に会いに来てください。

- ・会期：2024年7月17日(水)～9月1日(日)
(月曜日休館、ただし7/22、8/5、8/12、8/19は開館)
(展示個体の状態によって、展示を休止・変更する場合があります)
- ・開催時間：9:30～17:00(最終入館16:00)
- ・開催場所：琵琶湖博物館 水族展示室 古代魚(チョウザメ)水槽前(旧ふれあい体験室内。現在はふれあい体験室という名称の使用を停止しています)
- ・入場料：博物館の常設展示観覧料金で観覧できます。